

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年7月6日 文責：校長 森川 稔

生活・学習の様子を振り返っています

先週は大雨のため、集団下校時の際の対応をメール送信したところ、各ご家庭の判断で対応していただき、スムーズな下校ができました。保護者のみなさまのご協力に感謝いたします。

さて、7月に入り、1学期の教育活動も10日あまりとなりました。各学級、学年においては生活面、学習面を振り返り、“できるようになったこと”“まだできていない(定着していない)こと”について子どもたちと一緒に確認しています。担任の先生方の評価は以下のとおりです。

できた…3 あと少し…2 改善が必要…1

No	項目	平均
1	登校したら、すぐに名札をつけている。	2.2
2	8:00に朝の活動(国語・算数・読書)の内容ができています。	2.3
3	指名されたら「ハイ」と返事をして立ち上がっている。	2.3
4	休み時間のうちに、次の時間の学習の準備ができています。	2.3
5	筆箱の中身が整っている。	2.2

どの項目も4月から継続して指導してきた内容です。いろいろな事情はあるかと思いますが、どの項目も「3.0」となってほしいものばかりです。まだ定着に至っていない項目があるとするれば、それはどうしてなのかということも考えなければなりません。もしかすると先生方の呼びかけが十分ではないのかもしれません。また、登校時刻が始業ギリギリだから、登校したらすぐにつけるように揃えて指導している名札を付けることができていないのかもしれない、朝の活動のための準備が間に合わないのかもしれない…

しかし、できていないことの理由をいろいろと考えるよりも、大切なことは子どもたちも学校も「意識する」ということです。同時に「2」、「5」の項目については、ご家庭のご協力に委ねる割合が多くなります。(早めの登校、持ち物の確認 など)

残り少ない1学期ですが、すべての項目が限りなく3.0に近づき、お子さんたちが笑顔で心に余裕をもって夏休みに入ることができるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。



学校支援会議「東っ子かたろう会」

教育週間中に学校支援会議「東っ子かたろう会」を行いました。この会議は、本校の子どもたちの健やかな成長のために、地域（学校支援員さん、区長さん、民生児童委員さん、老人会長さん等）やPTA会長さん、本校職員が一堂に会し、情報交換などを行うものです。

今回は、今年度の学校経営方針を説明し、いろいろなご意見やご感想をいただきました。子どもたちの様子については、毎朝立哨指導で登下校の様子を見守って下さっている方から「学校に来た際に、1年生の子がわざわざ自分のところに来てくれて、『〇〇さん、いつもありがとうございます!』って言ってくれたんですよ。」や「毎学期のはじめや終わりに、横断歩道を渡るときに『〇〇さん、今学期もよろしくおねがいします。(ありがとうございました)』って言ってくれました。」など、子どもたちのちょっとした言葉を喜んでいらっしゃいました。

こういった言葉は子どもたちから自発的に出たものかもしれませんが、きっと日頃からのご家庭での言葉がけなどがあっているからだと思います。言われてうれくなる言葉、これからも子どもたちからたくさん聞かれるとうれしいですね。



水泳の指導をしていただきました

雨天が続きなかなか予定どおりに実施できない水泳指導ですが、先週は、晴れ間を見つけて各学年とも少し実施しました。3年生以上の「水泳」の授業で、市内のシーライフよりインストラクターに来ていただき、専門的なご指導をいただきました。

特に泳ぎに苦手意識をもっている子たちに対して、ビート板をつかってリラックスした姿勢で浮く、進む、安心して立つ等の動きを教えていただき、水に対する恐怖心がみるみるなくなっていく様子が見られました。

来週もう一回来ていただく予定です。ふだんの授業に加えて専門のインストラクターの指導を受けながら水に慣れ、泳力向上を目指していきます。



短冊に願いを込めて

校内に竹を飾っています。休み時間を使っているいろいろな願い事を書いた短冊を飾っています。みんなの願いが叶いますように…



田平東小HPはこちらから